

唐門修復情報

彩色工事 Vol.1

・唐門を彩る彫刻の修復 2019. 3. 1

唐門の彩色工事が始まりました。彫刻が門から取り外され、ほこりなどの汚れを除くクリーニング、彩色や形状などの調査が行われています。調査では、彫刻の状態を詳細に図面に書きおこして、着色に用いる顔料や、欠損部分の修復方法などを検討していきます。

唐門を彩る彫刻は全部で107点もあり、その絢爛豪華^{けんらんごうか}さに見惚^とれていると日が暮れてしまうことから「日暮門^{ひぐらしもん}」という別名がつく程、唐門にとっては欠かせない存在です。現在は、前回修復から39年が経ち、紫外線などによる劣化が進み、剥落が随所にみられるような状態ですが、唐門が再び訪れる人々を魅了するように、彩りを取り戻す修復が進められます。作業は今後、彩色の掻き落とし、傷んだ箇所^{箇所}の補修と続いています。



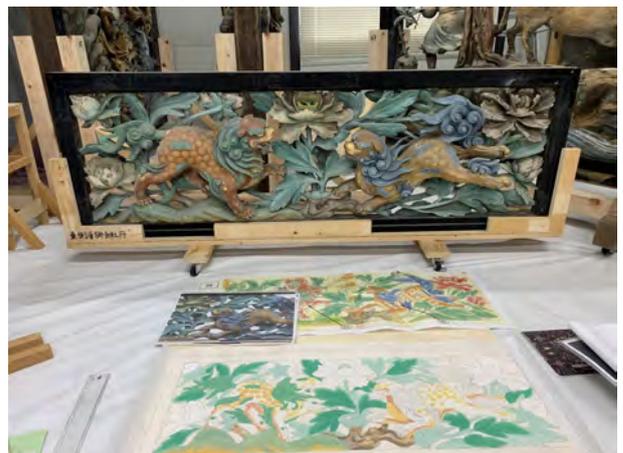
▲ 修復前の扉(左) 彫刻を取り終えた扉(右)



▲ 彫刻をクリーニングする様子



▲ クリーニング後、彩色調査中の麒麟(きりん)



▲ 唐獅子と牡丹の彫刻と図面(東側 扉欄間)